

理事通信

2009 - 2010 年度

13 (最終号)



2010年6月23日発行

主題「明日につなごう、未来につなごう ワイズの灯」

副題「今、私たちにできること」

東日本区理事 原 俊彦

「燃やせ、ワイズの炎 つどえ！富士のふもとに」を大会テーマに掲げた第13回東日本区大会が、ハイランドリゾート&スパに於いて434名の参加者をいただき開催されました。今回の大会の目玉は、何といても富士山。開会宣言のあと正面のカーテンが静かに開けられ、会場から雪を頂いた富士の山頂がくっきりとその姿を見せてくれましたが、それは2年以上に亘って他の誰からの助けも借りず「手作り大会」を目指してきた富士五湖クラブ15名にとっては長い間の労苦が報われた瞬間でした。今年の区大会の開催は、2ヶ月後に横浜国際大会を控えていたため、非常に難しい舵取りを強いられましたが、富士五湖クラブ15人全員が、正に一丸となって見事な大会に仕上げてくださいました。理事引継ぎ式では、昨年同様、樫村元理事の司会、竹内元国際会長の司式により次年度・松田俊彦理事へバッジとメダルが渡され、新しい年度がスタートしました。この一年、皆様方に支えられ無事に大役を果たす事が出来ました事を心より感謝申し上げます。

13-1 第4回東日本区役員会開催

6月4日(金) 東日本区大会に先んじて、第4回東日本区役員会が開催され、5件の議案が審議され、承認されました。その中で第5号議案として提案された「会員の休会」についての制度が承認されました。詳細につきましては新しいロースターに記載(東日本区定款施行細則第9条)いたしますのでご確認ください。休会につきましては理事の承認が必要となりますから、該当するクラブは2010年7月1日以降に理事に申請して下さい。

13-2 2009 2010 年度年次代議員会

6月5日(土) 今年度年次代議員会が11時よりハイランドリゾート&スパにおいて開催されました。代議員会定数83名、出席代議員55名、委任状15名、代議員会成立要件は2/3以上(55名)なので成立し、9件の案件が審議され、すべて承認・可決されました。承認された内、第4号議案「2010~2011年度理事、次期理事、次々期理事の件」についてご報告いたします。

理事:松田俊彦(東京) 次期理事:河合重三(富士)
次々期理事:駒田勝彦(甲府21)

2010~2012年度監事:越智京子(東京たんぽぽ)

なお、第8号議案の「第15回東日本区大会ホストクラブ選定の件」につきましては、立候補のクラブがなく、決定には至らず、引き続き公募を続けることになりました。

また、第1号議案の「2008~2009年度 東日本区決算報告及び会計監査報告を承認する件」の審議に際しましては、議案書に記載された数字に誤りがあり、ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。この決算報告書につきましては2010年2月1日発行の東日本区報第2号(通巻38号)の28頁~31頁に正しい数字が記載されています。

13-3 今年度表彰関係

(1) 東日本区奈良傳賞

・阿山剛男 様(東京むかでクラブ)

1923年生、87歳。1951年東京むかでクラブに入会しワイズ歴50年。1988年北東部部長。1935年、第4回野尻学荘に参加、以来東京YMCAとの関係は75年に及ぶ。

・佐藤一男 様(東京クラブ)

1928年生、83歳。1966年東京クラブ入会。1978年北東部部長(エルマークロー賞受賞)。早稲田大学YMCA委員長として活躍。白洋舎産業YMCA設立に尽力。東京YMCA理事、常議員会議長などを歴任。

・布能壽英 様(甲府クラブ)

1927年生、83歳。1951年甲府クラブ入会。1986年東部部長(エルマークロー賞受賞)。山梨YMCA常議員会議長、理事長を歴任。地域の青少年育成にも大きな貢献をされている。

(2) 最優秀クラブ賞 甲府クラブ

理事重点目標の一つ「新しいクラブ作り」に積極的に取り組み、長野クラブの設立を実現させると共に、東日本区の会員増強事業に対してもクラブを挙げて積極的な貢献をした。又、「チャリティラン」「YMCA バザー」「エイズフォーラム in 山梨」など常に地域に根ざした活動を継続的に進める姿勢は高く評価されます。

(3) 優秀クラブ賞 仙台青葉城クラブ

創立 30 周年記念事業として「第 1 回エイズフォーラム in 仙台」を企画。仙台市教育委員会、仙台医療センターなどの協力を得、仙台の地に初めて HIV/AIDS 問題を提起した功績は高く評価されます。

(4) 理事特別賞 金沢八景クラブ

「2000 プロジェクト」2 年目に当たる今年度、見事 2 つの新クラブを誕生させた。特に沖縄クラブは 107 名という世界最大のクラブとして国際からも高い評価を得、その後のクラブ運営に関しても順調に推移している。

沖縄クラブ：107 名の世界最大のクラブとして誕生。設立直後ながら BF、TOF、CS、ASF の献金 100% を達成、横浜関内クラブのスポンサーになるなど、積極的なワイズ活動を評価します。

中島寛勝(熱海クラブ)：毎年恒例になっている CS 事業・年賀切手収集に関し、今年度も全国レベルで積極的な働きかけをし、1537 枚という大きな成果を収めた。今年度はその当選切手の全てを東日本区に寄贈され、区会計に多大の貢献をされた功績は高く評価されます。

あずさ部：本年度の理事の重点目標である「オリジナルフラッグの作成」「卓話者公開」の実施に際し、あずさ部全クラブが率先して目標達成に対し非常に協力的であったことを高く評価致します。

(5) プリテン賞

・最優秀賞：東京西クラブ

・優秀賞：東京グリーンクラブ、もりおかクラブ

なお、表彰の詳細、各部門の表彰については、当日配布の「東日本区表彰一覧」をご覧ください。

13-4 東日本区大会・メネットアワー

6 月 5 日(土)午前 11 時より、ハイランドリゾートホテルの「桜」において開かれました。開会礼拝、メネット活動報告、委員長引継、次期メネット委員の紹介を済ませ、お食事を共にしました。

今回は横浜国際大会の初日の夏祭りで踊る「東京音頭」と「炭鉱節」を東京クラブの磯田幸子さんの指導で練習をいたしました。まだおぼつかない手さばき、足さばきですが、何とかメネットで夏祭りを盛り上げたいと思います。参加者は 23 クラブ、約 55 名でした。

13-5 東日本区大会・ユースの集い

今回はユースの参加者は 4 名でしたが応援のワイズが多数出席して、横浜国際大会のユースコンボケーションのオリエンテーションを行いました。4 名の参加者は大会の東日本区アワーの各クラブの活動報告を实际聞くことによって、ワイズの理解を深めたことと思います。

13-6 東日本区大会・担当主事会

今年度の担当主事会は、6 月 5 日(土)午前 11 時から開かれました。参加はとちぎ、埼玉、茨城、東京、横浜、山梨、日本 YMCA 同盟の 8 YMCA から担当主事が 13 名、その他、横浜、東京の総主事、ワイズなど約 20 名が出席しました。極めて限られた時間のため、十分な話し合いが出来ませんでした。それぞれの情報交換をすることが出来ました。今回ワイズメンズクラブから交通費の一部をご負担頂きましたことに感謝いたします。

13-7 B F 代表来日

本年度はカナダのセントジョーンクラブから BF 代表としてトマス・バシル グラスさん(65 歳)が来日しました。5 月 20 日に成田到着(千葉クラブ、青木さん出迎え) 東京北クラブ例会出席。21 日、東京世田谷クラブサポート。22 日、横浜クラブサポートで横浜関内クラブチャーターナイト出席、23 日あずさ部サポート、23 日~27 日まで富士山部(特に竹内さん)サポートで熱海と熱海グロリーの例会に出席をして、27 日に西日本区に引継ぎました。ご協力頂きました各部、各クラブの皆様、本当にありがとうございました。

理事事務局から感謝

本年度原 俊彦理事の元で理事事務局の務めを無事終えることが出来ました。各クラブの皆様のお支えに感謝申し上げます。

また、毎月の例会卓話一覧の発表には、積極的に情報を提供して頂き、ありがとうございました。

各クラブへの情報が十分に行き届かず、ご迷惑をお掛けしたことも多々あったと思いますが、どうぞご容赦ください。私たちにとっては全国各地のクラブの多くの皆様との交流の機会が与えられ事が大きな喜びであり、大きな財産となりました。

ご交情に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

2009-2010 東日本区書記・長谷川あや子

会計・宮内 友弥

理事事務局長・小山 憲彦

次長・菰淵 光彦

参与・村杉 克己